

A0104-02	エアラインマスクは接続ラインの確認から		
本文	酸欠作業の空気マスク用取り出し口は間違っって他のガス配管に取り付けないこと		
リスクの種類	窒息死、呼吸不全	関連目次・章節	A0202
理由(何故)	酸欠作業用の空気マスクは、必ず安全な空気配管に接続していることを確認しないと、作業時に他の危険なガスを吸って重大な事故を起こすことになる。		
方策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 安全衛生教育を事前に十分に行うこと 2) 作業標準を作業人や管理者に徹底すること 3) 配管区別が明瞭でないと間違いを引き起こす原因となる。ガス種毎に適正な色を配管に塗っておくこと(例、空気;白、窒素;黒 等)。また、表示をすること。 4) 酸欠作業を外部から監視できる場所に監視人を配置し、作業状況を常に監視しておくこと。 5) 作業主任者の職務を徹底すること。 		
事故例	<ol style="list-style-type: none"> ① 工場内において、原料中間体を濾過器より取り出す作業を行うための準備として、ポリエステル製の袋を使用した自作のマスクを装着した際、マスクのエアラインを空気配管に接続すべきところ、アルゴンガス配管に接続したため、アルゴンガスを吸入し、酸素欠乏症に被災(休業6ヵ月)した。 ② 工場内にあるトルエン貯蔵タンクのタンク内清掃を行うため、その準備として、エアラインマスクを装着した際、マスクのエアラインを空気配管に接続すべきところ、窒素配管に接続したため、窒素を吸入し、酸素欠乏症により死亡した。 <p style="text-align: right;">(厚生労働省基安労発第 0614001 号(H16.6.14))</p>		
法的参考事項	<p>労働安全衛生法第 57 条、酸素欠乏症等防止規則</p> <p>配管識別色は JIS Z 9102 を参照のこと</p>		
備考			